

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	入居者は、コロナ禍において外出やご家族との面会などに制限が加わる状況下で生活されており、居室で過ごされる時間が多く、また屋内でも入居者の個別性に応じた活動を支援することが困難である。	日常生活や行事に際しての役割など入居者お一人お一人の個別性に合わせた活動を行い、また、コロナ禍でも可能な状況で屋外に出る機会を作り、生活する中での張り合いや楽しみ、気分転換につなげることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の中での作業やレクなど、個々の特性に合った活動を見つけて行う。</li> <li>・一日の中で集団と合わせて行う活動と個別に行う活動を組み合わせながら、確実にを行う。</li> <li>・勤務者同士でコミュニケーションをとりながら、法人敷地内での散歩、また小人数でのドライブなど外出の機会を作る。</li> <li>・季節ごとの行事では、職員のアイデアによるレクと手料理で楽しんでいただく。</li> </ul>	12ヶ月
2	10	コロナ禍において、ご家族の面会や運営推進会議の開催に制限があり、直接ご意見やご要望をうかがう機会が減っている。	ご家族への手紙や定期的に発行する新聞(あしたば通信)、または運営推進会議の場でお伝えする内容をより具体化し、ケアの現状を理解していただけるよう努める。そして、方法を工夫してご意見やご要望をうかがい、運営に活かしていく。	ご家族へのお手紙は月に一度、新聞(あしたば通信)は2ヶ月に一度、確実に発行する。手紙には各担当者が生活の様子や気付いたこと等を記載する。また、新聞にはプライバシーを配慮したうえでできるだけ具体的に入居者の生活の様子を掲載し、直接または郵送でご家族と運営推進委員にお伝えする。そして、対面で直接という方法が難しい場合には、オンラインでのメールや電話、またアンケート等によりご意見やご要望をうかがう。	12ヶ月
3					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。